

福井中3殺害再審決定



名古屋高裁金沢支部の再審開始決定を受け、喜ぶ前川彰司さんら=23日午前、金沢市

福井中3殺害事件 1986年3月19日夜、福井市の市営団地で、住人の中学3年の女子生徒が包丁で刺されるなどして殺害された。県警は約1年後、殺人容疑で前川彰司さんを逮捕。90年の一審福井地裁判決は無罪だったが、二審名古屋高裁金沢支部は95年、逆転有罪とし、心神耗弱を認め懲役7年の判決を言い渡した。最高裁も支持して確定。前川さんは満期出所後の2004年、第1次再審請求した。11年の高裁金沢支部決定は再審開始を認めたが、検察が異議を申し立て、名古屋高裁が13年に取り消した。22年に第2次請求。日弁連が支援している。

高裁支部は、確定判決が有罪の根拠とした関係者供述について、自己の利益のためうその供述をした疑いがあり、信用できないと指摘した。

前川さんは90年に一審福井地裁で無罪判決を受けたが、二審の高裁金沢支部で逆転有罪となり、確定。第一次再審請求で、高裁金沢支部は2011年、再審開始を認めだが、検察の不服申し立てを受け、名古屋高

裁の異議審で取り消された。23日の決定を受け、前川さんは「ほつとしているが、浮かれるわけにはいかない」と述べた。

犯人を指し示す直接的な証拠がない中、確定判決は「前川さんに犯行を告白された」などとする複数の知人の証言を有罪の根拠とした。司法判断ごとに証言の評価が一転三転する異例の展開をたどってきた。

第2次請求で弁護側は新証拠として、服に血が付いた前川さんが乗ったと関係者が証言した車から、血液反応が出なかつたことに関する再現実験結果などを提出。日光に当てるといった実験をしたところ、いずれも血液反応があり、証言は信用できないと主張した。検察は警察の捜査報告メモなど新たに287点の証拠を開示。請求棄却を求めていた。

1986年に福井市で中学3年の女子生徒が殺害された事件で、殺人罪で懲役7年が確定し、服役した前川彰司さん(59)の第2次再審請求で、名古屋高裁金沢支部(山田耕司裁判長)は23日、裁判をやり直す再審の開始を認める決定をした。前川さんは捜査段階から無実を訴えてきた。

関係者供述 信用性否定
86年発生 59歳前川さん、無実訴え

高裁金沢支部